



Veritas Alta Data Protection

クラウドでの基本バックアップを超える機能を実現

概要

DevOps プロフェッショナル、クラウドアーキテクト、アプリケーション開発者の目標の 1 つは、クラウドにある何十億ものファイルやオブジェクトを保護することです。そこで特に重要になるのが、災害発生時に単一ファイルまたはデータセット全体を迅速に特定してリカバリし、アプリケーションとビジネスをオンラインに戻すことですが、クラウドの専門家の 99% は（常時、またはほとんどの場合）クラウドサービスプロバイダー（CSP）が提供する基本的なデータ保護ツールを使用しています¹。このことがデータリカバ리를複雑化させ、時間がかかる要因となっているため、最も必要なタイミングで望ましくない状況が生じています。

最初のうちはコスト効率に優れ、使いやすいうえに、信頼できる提供元による CSP ツールだと思えても、全体的なコストは高くなっていき、リカバリ作業が大変になる可能性があります。このようなデータ保護ツールはスナップショットベースであり、アプリケーションデータのコピーを簡単に作成できるものの、その機能は基本的なものです。そのため、コストのかかるストレージを大量に消費し、データのリカバリが困難になります。ツールによっては、単一ファイルを参照してリカバリする前に、レプリケートされたボリュームを一時的な場所にリストアしてマウントする必要があります。環境全体をリカバリする場合も同様ですが、リストアできるのはデータだけであるため、アプリケーション環境を再構築してから、リカバリしたデータを使用してアプリケーションをオンラインに戻す必要が生じます。データの保護やリカバリは可能ですが、プロセス全体としては時間がかかり、エラーも発生しやすくなります。

クラウドでのエンタープライズクラスのバックアップとリストアを難しいものにすべきではありません。Veritas Alta Data Protection を利用すれば、効率的でサービス指向の弾力性に優れたアーキテクチャを活用し、シームレスかつ自動化されたデータ保護を実現し、安全かつコスト効率の高い方法でデータを保護および保存できます。単一ファイルのリカバリであれば、ボタンをクリックするだけで簡単にファイルを特定してリストアできます。また、複雑なシステム全体のリストアの場合は、迅速かつ信頼性の高いリカバリを実現できるよう自動化され、アプリケーションとビジネスのダウンタイムを最小限に抑えることができます。

データ保護の課題

急増するデータ量、急速なクラウド移行への取り組み、さらにはデータ保護エキスパートの不足により、こうしたデータ保護の課題は深刻化し、サイバーリスクにさらされる機会が増えています。また、クラウドはデータの無秩序な拡大にもつながっており、シニア IT リーダーの 58% はデータフットプリント全体を明確にしていないため¹、そもそも把握自体ができていないデータを保護するのは困難です。クラウドにおけるランサムウェア攻撃は増加の一途を辿っており、クラウドにデータを保有する企業の 89% がランサムウェア攻撃を経験しています¹。多くの場合、完全なリストアを迅速に行う必要がありますが、サイバー犯罪者の激しい攻撃、自然災害の増加、人的ミス、計画外のクラウド停止などの要素を踏まえると、データの安全性と迅速なリカバ리를確保するために、CSP のチェックボックスをオンにするだけでは不十分です。

基本的な要件の 1 つとして、まずデータ保護とセキュリティに責任を持つのは誰なのか（お客様か CSP か）を理解しなければなりません。それには、共有責任モデルを理解することが非常に重要です。これはインフラの保護、クラウドインフラ内で実行されているアプリケーション、クラウドに保存されているデータについて、責任の所在の大枠を定めるものです。

つまり、CSP はクラウド自体の回復力に、お客様はクラウド環境内の回復力にそれぞれ責任を持つという責任共有モデルが適用されます。お客様は、データ、そのセキュリティ、一貫性、正確性、バックアップ、ワークロードアーキテクチャ、障害管理について適切に管理する必要があります。

この課題をさらに深刻にしているのは、多くの場合、データが異なる CSP、エッジ、オンプレミスに存在することです。データがどこにあると、データに対する責任はお客様にあり、データの可用性、保護、コンプライアンスを常に確保する必要がありますが、費用はなるべく抑えなくてはなりません。決して簡単な取り組みではありませんが、クラウド、エッジ、コアのすべてのインフラに対応する実績あるデータ保護プラットフォームが 1 つあれば、必要なエンタープライズクラスの保護を実現できます。さらに、配備と管理が簡単で、コストをかけず自動的に拡張でき、ファイルレベルのリストアと完全なシステムリストアを迅速に行えるソリューションが必要です。

こうした今日のデータセキュリティとデータスプロールという課題に対処する最善のアプローチは、すべてのデータの管理をベリタスで行うことです。Veritas Alta は、包括的なデータ保護戦略により、企業が必要とする経済性、拡張性、柔軟性、リカバリ時間を実現します。CSP が提供する基本的で比較的新しい保護機能ではなく、使いやすいソリューションにより、スプロール、コスト、セキュリティを最大限に管理できます。

Veritas Alta

Veritas Alta は、ハイブリッドおよびマルチクラウド環境向けに構築された、業界で最も包括的な統合クラウドデータ管理を提供します。また、クラウドのメリットを活用し、コストの削減、ランサムウェア攻撃に対する耐障害性の強化、データの保護、可用性、コンプライアンスを確保します。さらには、人工知能 (AI) と機械学習 (ML) を使用してセキュリティとデータ管理プロセス全体の自動管理を可能にする、自律型データ管理の基盤を提供します。

ベリタスでは、最も重要なアプリケーションについては、その稼働環境を選択できることが重要だと認識しています。アプリケーションの稼働環境は、オンプレミス、クラウド、ハイブリッド、マルチクラウドなど、ビジネスニーズに応じて決定することができます。このような選択を可能にするために、ベリタスは Veritas Alta View も発表しました。これは、エッジ、コア、クラウドにわたり、データ資産全体を 1 つの画面で一元的に表示、制御するクラウドベースの管理コンソールです。

Cloud Scale Technology

Veritas Alta™ Data Protection は、NetBackup のクラウドネイティブ拡張機能であり、Cloud Scale Technology を搭載しています。

Cloud Scale Technology は、クラウドネイティブソリューションであり、クラウド、ハイブリッド、マルチクラウド環境におけるデータ管理に関するインサイトとインテリジェンス運用を拡張します。これは自動化されたポリシーとプロビジョニングによって実現されるものであり、統合マルチクラウドソリューション向けに動的に割り当てられる弾力性の高いサービスを提供します。複数のクラウド間で一貫したエクスペリエンスを提供することで、投資収益率 (ROI)、サービスの回復力、セキュリティを向上すると同時に、運用の複雑さとコストを軽減します。

Veritas Alta Data Protection

Veritas Alta Data Protection は、顧客が重要なデータに常にアクセス可能にすることを優先課題にしています。ポートフォリオには、Veritas Alta™ Backup as a Service (BaaS)、Veritas Alta™ Data Protection、Veritas Alta™ Recovery Vault、Veritas Alta™ SaaS Protection があります。Veritas Alta Data Protection ポートフォリオは、エッジ、コア、クラウドの重要なデータに対して、セキュリティ、サイバーレジリエンス、マルチクラウドの可視性、コントロールを重視したエンタープライズクラスのデータ保護を提供し、総所有コスト (TCO) を削減します。

スナップショットはバックアップではない

多くのクラウドベンダーはバックアップ用に単なるスナップショットを作成しますが、保守には費用がかかり、リカバリも困難であるため、これは短期的なソリューションを目的として基本レベルの保護を提供するだけのものです。スナップショットは本番アプリケーションと同じアレイに存在するため、アレイ障害の影響を受けやすく、データの有効なバックアップとは見なせません。また、こうしたベンダーはスナップショットを高コストなプライマリストレージに保存し、重複排除は行わないため、必要以上に多くのストレージを使用します。さらに重大な問題は、データが失われたときにどれだけ迅速にリストアできるかということです。一般的に、スナップショットにはデータのカatalogがないため、ファイルビューはありません。つまり、個別にリカバリを行って単一ファイルをリストアすることはできず、完全なリストアを行う場合は、マウントポイントを作成し、手動でファイルをリストアする必要があります。手動であるため、時間がかかり、エラーも発生しやすくなります。



Veritas Alta Data Protection

Cloud Scale Technology を搭載した Veritas Alta Data Protection は、クラウドのコンピューティングコストを最大 40%、クラウドのスナップショットストレージコストを最大 90% 削減します。自己管理型であり、クラウドのミッションクリティカルなデータを大規模な環境で効率的に保護することが目的です。NetBackup は、世界有数の金融機関の多くを含む Fortune 100 企業の 95% の企業データを保護するために採用され、高く信頼されています。

メリット : Veritas Alta Data Protection

簡潔化	<ul style="list-style-type: none">• API ファースト戦略を備えた統合プラットフォームにより、統合が容易に• Web ベースのユーザーインターフェース (UI) により、エッジ、コア、クラウドのデータ資産全体を 1 つの画面で管理可能• ワンクリックでのリカバリ• 自動的で弾力性の高い拡張性により、インスタンスの使用を 40% 削減• Veritas Alta Recovery Vault のサービスオプションにより、ストレージの作成と管理が不要
配備の選択	<ul style="list-style-type: none">• ハイブリッド、マルチクラウドの環境に対応• さまざまな配備オプションとテクノロジーを提供 : IaaS (Infrastructure as a Service)、PaaS (Platform as a Service) (PaaS 環境で動作する非構造化データやデータベースを含む)• VMware 環境とオブジェクトストレージの安全性と保護を提供• 最新のクラウドインフラ (コンテナ、Kubernetes、マイクロサービス) にセキュリティとデータ保護を提供
コスト効率の高い データ保護 : 弾力性	<ul style="list-style-type: none">• 弾力性の高いデータ管理と保護を実現 (必要に応じてリソースを追加し、バックアップを適切なタイミングで確実に完了)• バックアップのためにリソースを過剰にプロビジョニングしたり、拡張を計画したりする必要がない (自動的に実施されるため、時間、労力、コストを削減可能)
コスト効率の高い データ保護 : 重複排除	<ul style="list-style-type: none">• ワークロードのすべてのフロントエンド TB に基づくライセンス• データのバックアップと同時に重複排除が実施されるため、必要なストレージの量とコストを大幅に削減 (最大 95%)• 完全なシステムリカバリまたはファイルレベルのリカバ리를迅速に実施する機能を維持
コスト効率の高い データ保護 : インテリジェントな階層化	<ul style="list-style-type: none">• インテリジェントなポリシーベースの管理を提供し、ウォームデータまたはコールドデータを高価なプライマリストレージから安価なセカンダリストレージに移行することで、大幅なコスト削減を実現• インテリジェントなポリシーベースの階層化により、最大 40% のコスト削減が可能
セキュリティ強化	<ul style="list-style-type: none">• データ資産で AI ベースの異常検出およびマルウェア検出がデータのバックアップとリカバリ時に実施され、ハッカーがすでにシステムに侵入している場合にその伝播を防止• 転送中および保管中のデータ暗号化による保護の強化• ロールベースのアクセス制御 (RBAC) により安全な環境を実現• 分離型リカバリ環境 (IRE) によるリカバリ前に、クリーンかつ正常なデータを確保

<p>ワンクリックでのリカバリ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ボタンをクリックするだけで、完全なクロスサイトリストアまたはクラウドリストアを自動化および統合 ・ 規模に制限がなく迅速なリカバリ ・ アクセス可能なデータ、必要な依存関係がすべて満たされたオンラインのアプリケーション ・ 重複排除されたデータをオブジェクトロックテクノロジーで送信および保存し、(効率的に保存された重複排除データから) データセンター全体をオンデマンドで起動できるのはペリタスだけ
---------------------	--

Veritas Alta Recovery Vault

エンタープライズクラスのデータ保護とセキュリティは必要だが、手間のかからないものがよいと考えていますか？クラウドベースのデータ保持サービスである Veritas Alta™ Recovery Vault なら、エンタープライズクラスのセキュリティとデータ保護のあらゆるメリットが活用でき、ストレージの作成と管理が不要になります。Veritas Alta Recovery Vault の中核となるのは、世界的なエンタープライズクラスのデータ保護およびセキュリティソリューションである NetBackup です。Veritas Alta Recovery Vault では、エンドツーエンドの重複排除により、使用した分のストレージに対して支払うだけで済むため、最大 95% のコスト削減という大幅な削減が可能になります。Veritas Alta Recovery Vault は、ランサムウェア対策となるセキュリティ強化、転送中および保管中の暗号化、マルウェアの自動スキャンを可能にする非ホスト型データベース PaaS、手動スキャンと即時可視化を実現する Veritas Alta Recovery Vault アーカイブイメージの活用機能も提供します。また、改ざん不可能なストレージだけでなく、アーカイブ層も提供するため、お客様に合った保護レベルとコスト構造を自由に選択できます。

Veritas Alta SaaS Protection

SaaS は、CPU、メモリ、ストレージ使用率、可用性の綿密な監視にかかる負担を軽減し、運用を確実なものにし、最適化します。しかし、これによってデータの安全性と保護を確保する責任が免除されるわけではありません。責任共有モデルの一環として、SaaS アプリケーションデータのセキュリティと保護に対する責任は、依然としてお客様にあります。

かつては例外的であった SaaS (Software-as-a-Service) アプリケーションは、多くの企業にとって標準的なアプローチとなりました。サービスの形で提供することは容易であるため、各事業部門はこうしたアプリケーションを容易に調達し、立ち上げることができます。しかし、データがどのように保護されているか、エコシステムにどのように接続されているかについては、必ずしも把握しているわけではありません。データ保護の責任があるお客様にとって、これが大きな問題となることがあります。そこで [Veritas Alta SaaS Protection](#) は、SaaS アプリケーションの多層的な保護に加え、エンタープライズクラスのパフォーマンスと拡張性を提供し、以下の要素も含んでいます。

- ・ 単一のテナントアーキテクチャ (専用リソースを確保し、データのクロスオーバーを排除)
- ・ Azure Active Directory と緊密に連携
- ・ エンドツーエンドの暗号化 (転送中および保管中)
- ・ 詳細なロールベースのアクセス制御 (RBAC) で、どのデータに対してどのような権限をどのユーザーに付与するのかを指定
- ・ IP の許可 / 拒否リスト、プライベート VNet、アクセス制御リスト (ACL)、多要素認証

まとめ

クラウドに移行したり、クラウドでアプリケーションを実行したりする際には、データのセキュリティと保護に責任があることを忘れてはなりません。そのデータが重要なものであれば、エンタープライズクラスのセキュリティとデータ保護が必要となります。セキュリティおよびデータ保護ソリューションを選定する際には、コストとリカバリ時間がビジネス目標を満たしていることを確認する必要があります。



Veritas Alta Data Protection for NetBackup Cloud Workloads、および Veritas Alta SaaS Protection を利用すれば、データの安全性と保護、迅速なリカバリを安心して実現できます。これらのソリューションは、CSP のセキュリティ、サイバーレジリエンス、マルチクラウドの可視性、コントロールを拡張し、TCO を削減します。また、大規模なクラウドのミッションクリティカルなデータについて、コスト効率よく安全性を確保し、保護するように設計されています。

Veritas Alta Data Protection for NetBackup Cloud Workloads は、高い拡張性、柔軟性、回復力を必要とする最新のワークロードに適した、クラウドネイティブで弾力性の高いアーキテクチャ設計である Cloud Scale Technology を搭載しています。これは NetBackup の拡張機能であり、クラウド、ハイブリッド環境、マルチクラウド環境のデータを保護します。Veritas Alta SaaS Protection は、SaaS アプリケーションの多層的な保護に加え、エンタープライズクラスのパフォーマンス、拡張性、強固なセキュリティを提供します。

1 VansonBourne: Veritas—Transformation Gap Research September 2022

ベリタスについて

Veritas Technologies は、マルチクラウドデータ管理のリーダーです。データの保護、リカバリ能力、コンプライアンスを確保するために、Fortune Global 100 の 95% を含む、先進企業 80,000 社以上が、ベリタスのソリューションを導入しています。ベリタスは、ランサムウェアのようなサイバー攻撃がもたらす脅威に対してお客様が必要とする回復力を提供し、大規模な環境でも信頼できると評価をいただいております。単一の統合されたアプローチを通じ、800 以上のデータソース、100 以上のオペレーティングシステム、1,400 以上のストレージターゲット、60 以上のクラウドをサポートしており、ベリタスの実行能力に匹敵するベンダーは他にありません。Cloud Scale Technology により、ベリタスは運用にかかる煩雑さや業務量を削減しつつ優れた価値を提供する、自律型データ管理の戦略を提供しています。ベリタステクノロジーズ合同会社は、Veritas Technologies の日本法人です。

VERITAS[®]

ベリタステクノロジーズ合同会社
〒107-0052 東京都港区赤坂 1-11-44
赤坂インターシティ 4 階
www.veritas.com/ja/jp

各国オフィスとお問い合わせ先については、
弊社の Web サイトを参照してください。
veritas.com/ja/jp/company/contact